



2005年度中間決算

2005年11月2日

取締役社長 岡 素之

住友商事株式会社

2005年度中間決算のポイント

1. 中間決算総括

純利益881億円(前年同期比倍増、上半期過去最高益)

2. 通期業績見通し

純利益を1,400億円に上方修正(期初予想1,100億円)

3. 配当

中間配当1株当たり11円へ増配(前期中間配当:4円)

4. AG Plan

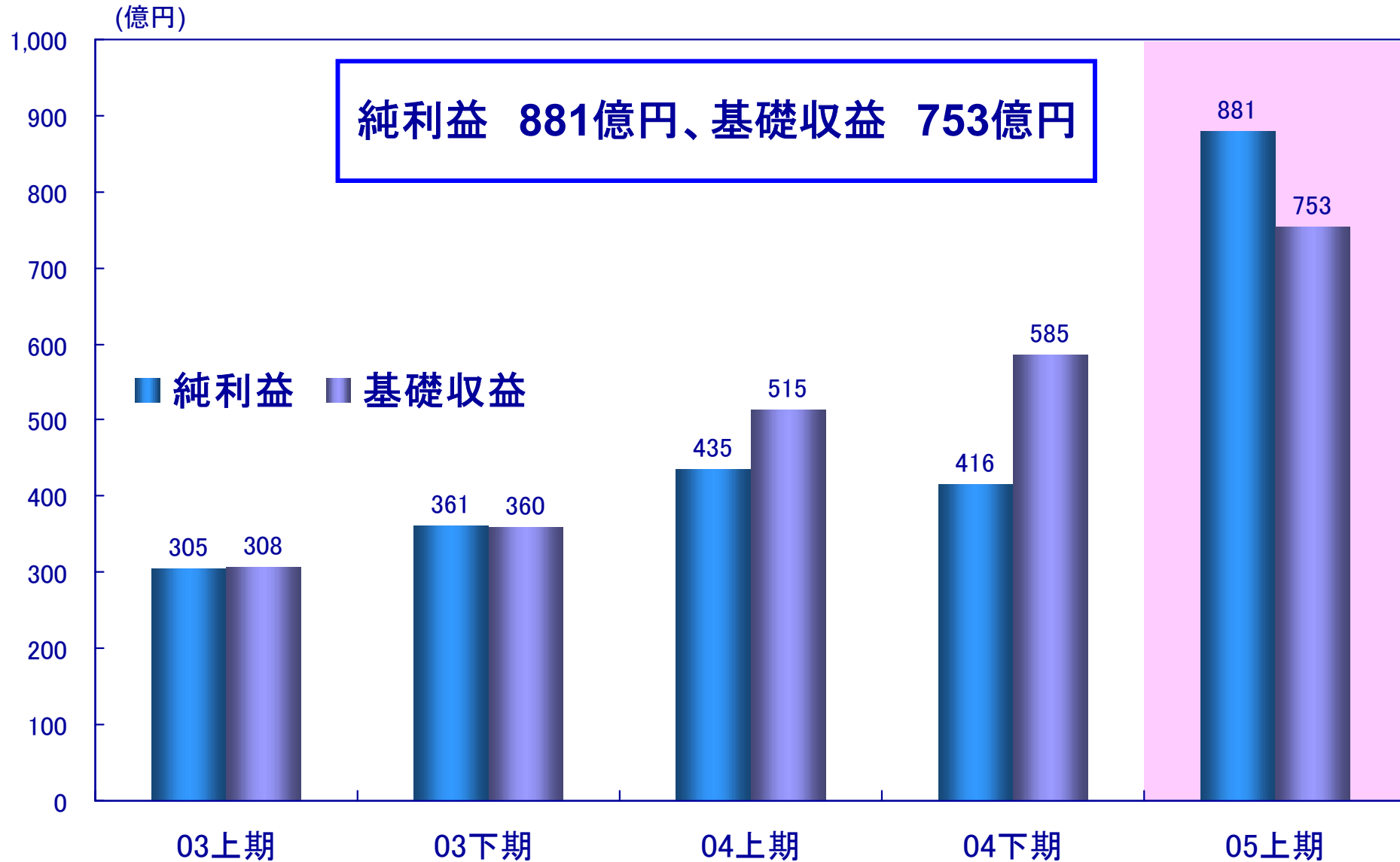
収益基盤拡大の進捗状況、持続的な成長を目指して

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

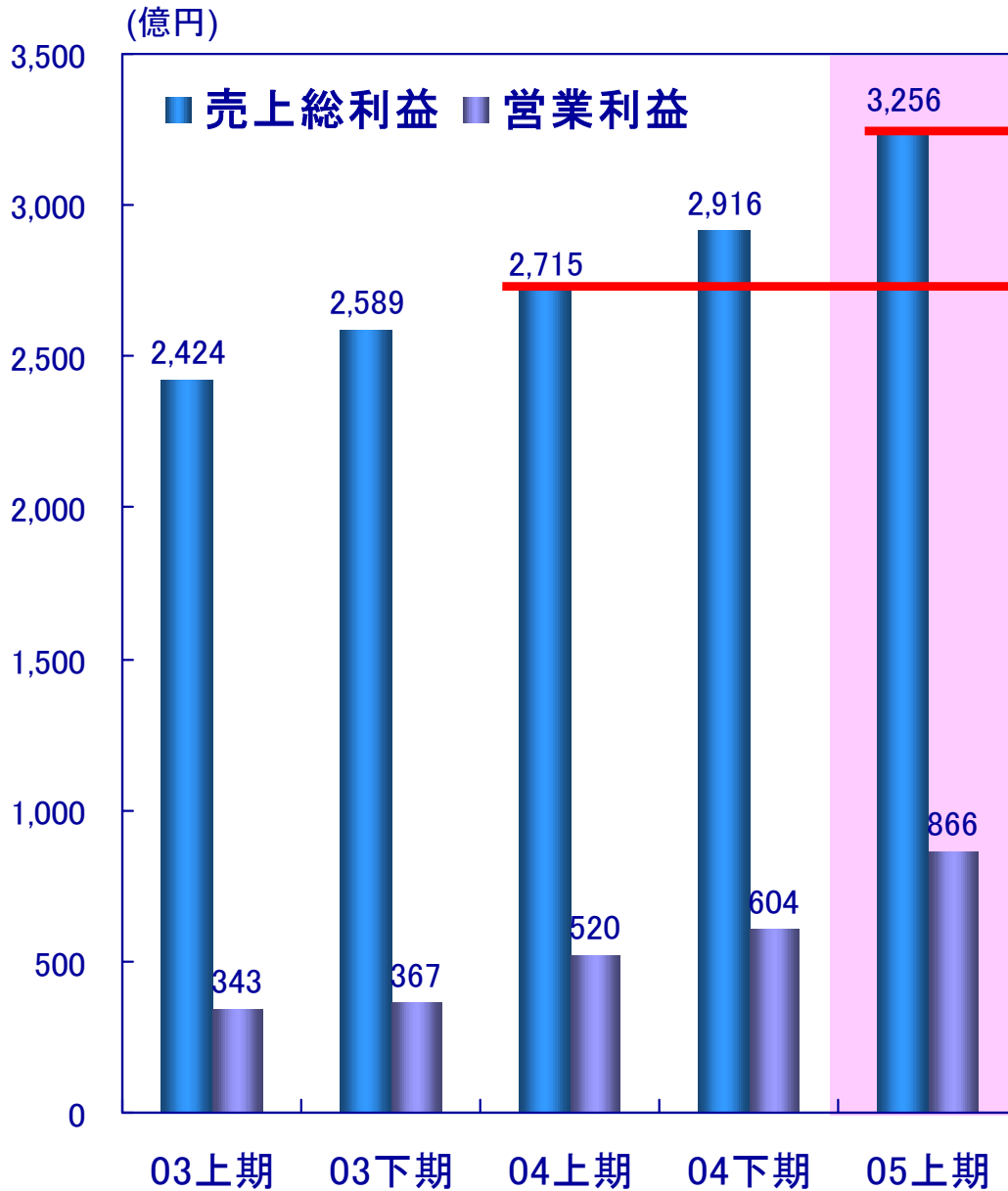
1.中間決算総括

純利益・基礎収益の推移



*基礎収益＝償却前業務利益(税引後)+持分損益

1.中間決算総括 売上総利益



売上総利益 3,256億円

前年同期比 +541億円

既存コア事業拡大 +370億円

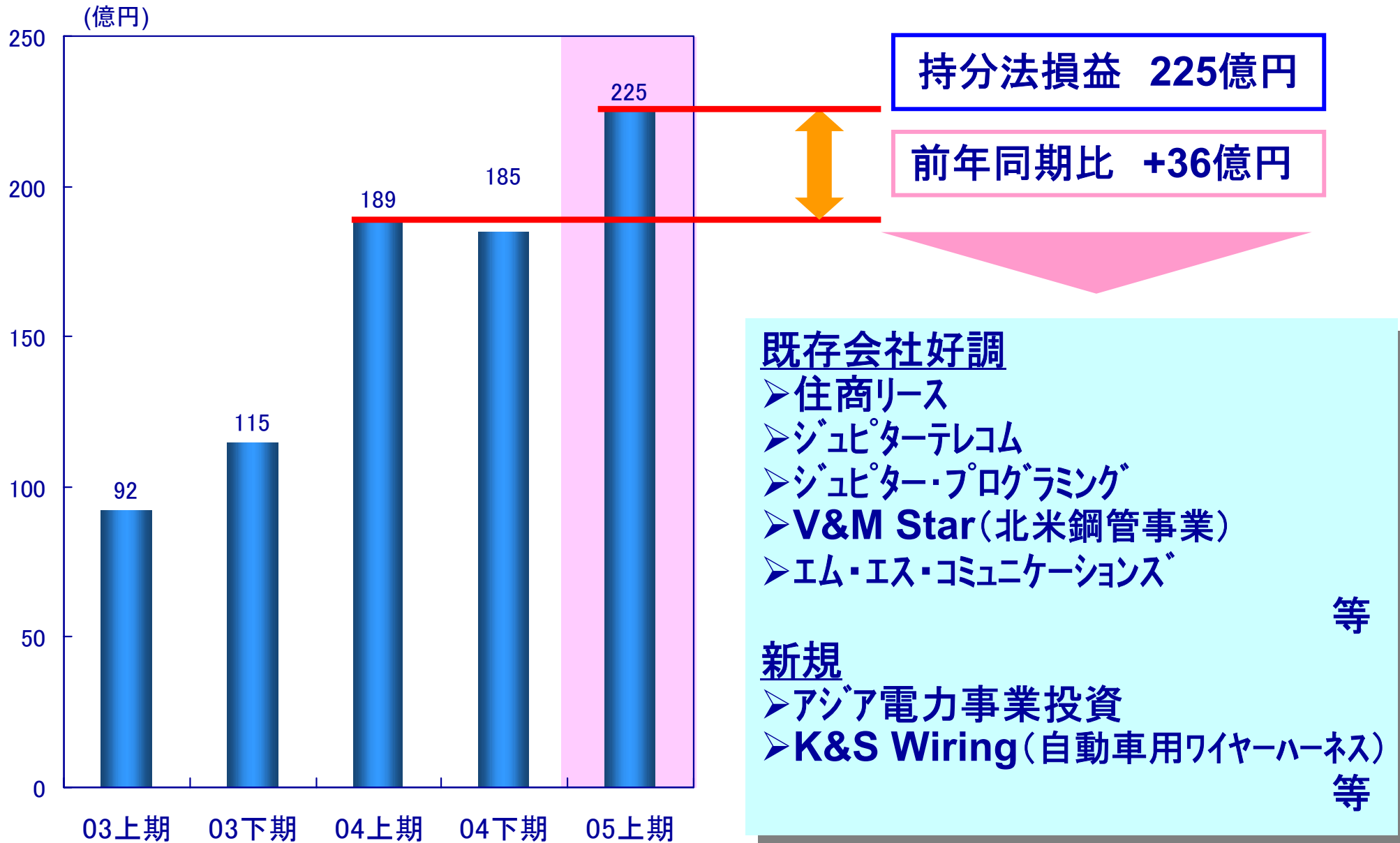
- 金属事業
- 自動車金融事業
- 豪州石炭事業 **等**

新規連結 +170億円

- ハーツ・マウンテン(ペットケア)
- モンリーブ **等**

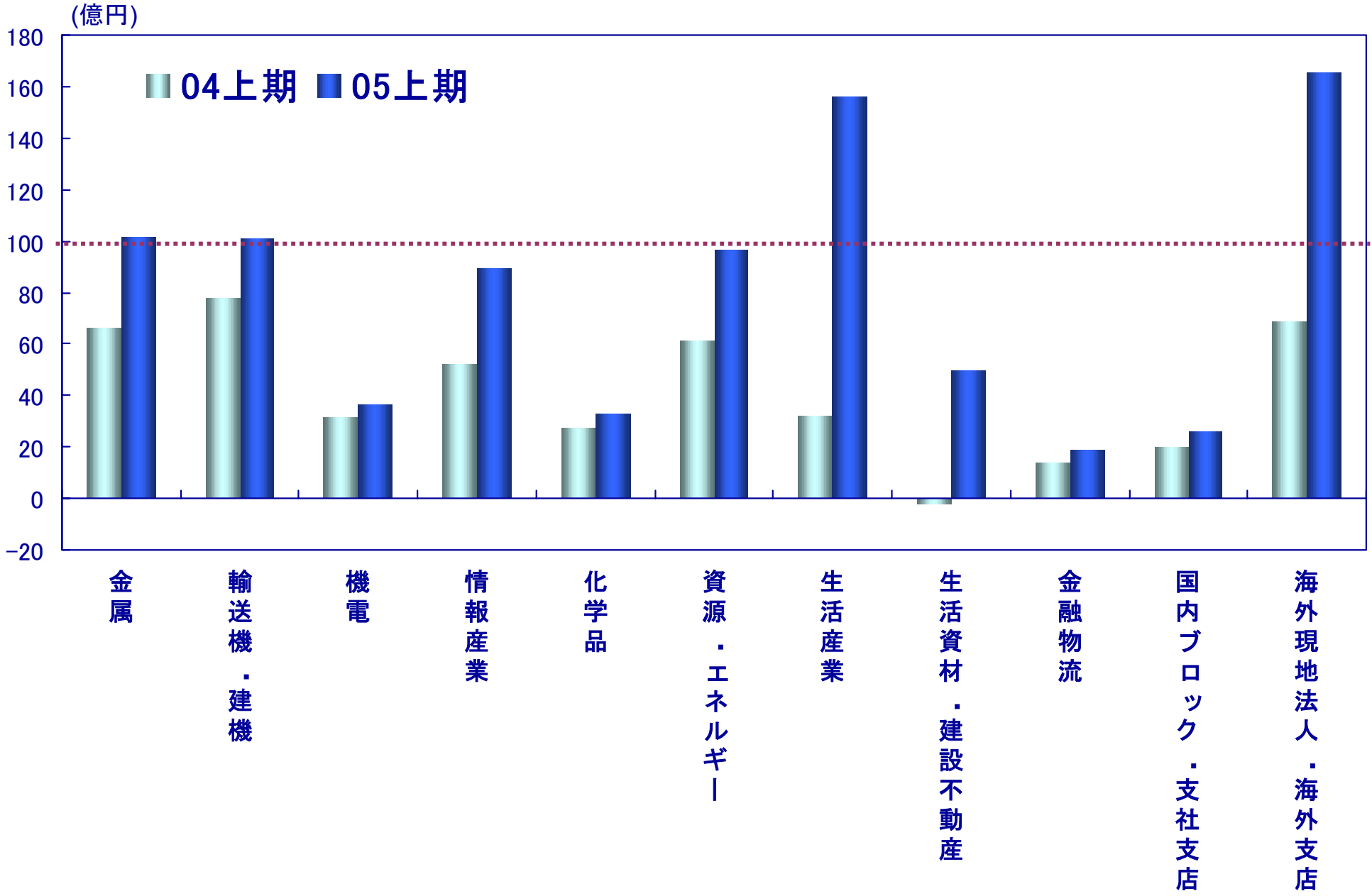
注) 営業利益は日本基準

1.中間決算総括 持分法損益



1.中間決算総括

セグメント別純利益



1.中間決算総括 財政状態

	05/3末	05/9末	増減	要因
総資産	5兆5,331億円	5兆7,924億円	+2,593億円	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的投資 ・営業資産拡大
株主資本	9,349億円	1兆1,543億円	+2,195億円	<ul style="list-style-type: none"> ・純利益の積み上げ ・株式含み益増加 ・住商オートリース完全子会社化に伴う新株発行
有利子負債(Net)	2兆3,760億円	2兆3,553億円	-207億円	
株主資本比率	16.9%	19.9%	3.0pt改善	
DER(Net)	2.5倍	2.0倍	0.5改善	

2.通期業績見通し 内外経済見通しと前提条件

世界経済見通し: 総じて安定した成長が続く
日本経済見通し: 踊り場を脱し、回復に向かう

計画見直しの前提条件		06/3期 予想 (05/4時点)	05/9期 実績	06/3期 予想 (05/10時点)	
				下半期 予想	
為替 (¥/US\$:平均)		105	110.36	113	112
金利	LIBOR 6M (YEN)	0.07%	0.07%	0.07%	0.07%
	LIBOR 6M (US\$)	3.6%	3.7%	4.2%	4.0%
原油 (US\$/bbl) <北海ブレント>		32	50.4	60~62	55~56
原料炭 (US\$/MT)		125前後	125前後	125前後	125前後
銅 (US¢/lb)		110	132	133	133
金 (US\$/oz)		400	429	435	433

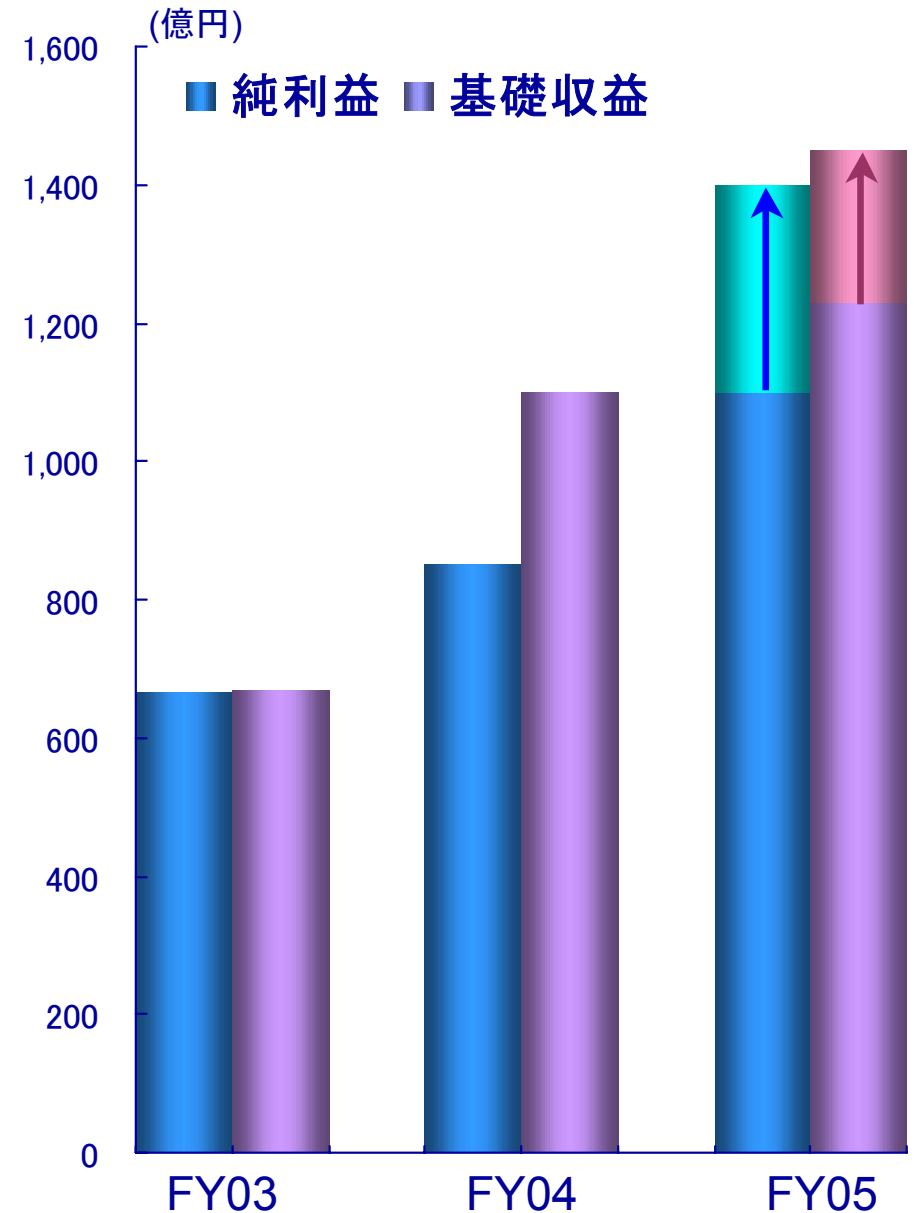
2.通期業績見通し 通期業績見通し上方修正

順調な収益基盤拡大

市況商品価格の沈静化(鉄鋼製品等)
ドル金利上昇

通期業績見通し上方修正

(億円)	期初予想	増加	見直し
純利益	1,100	+300	1,400
売上総利益	6,200	+400	6,600
持分法損益	450	+20	470
基礎収益	1,229	+226	1,455



*基礎収益 = 償却前業務利益(税引後) + 持分損益

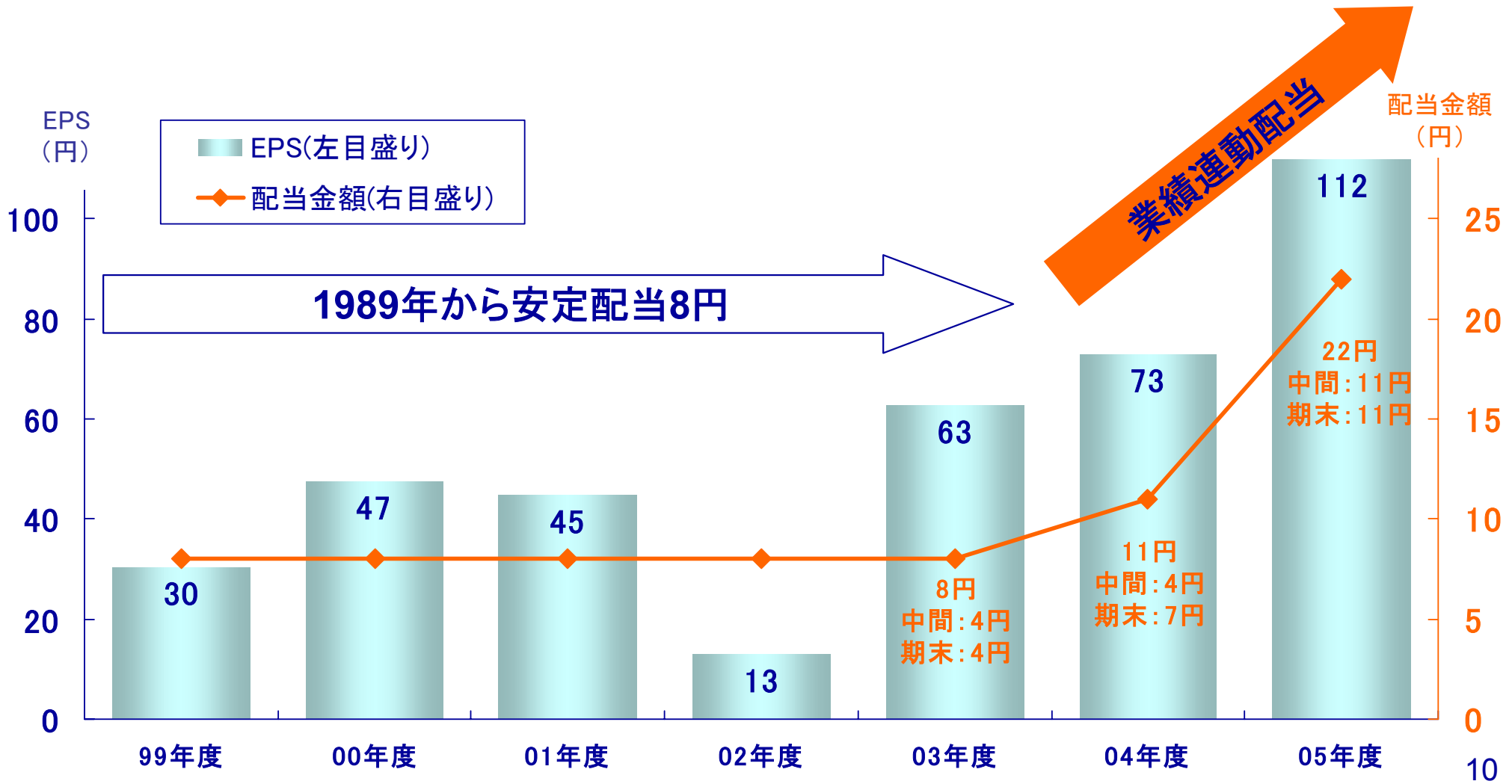
2.通期業績見通し 主要経営指標の見通し

	04/3末	05/3末	05/9末	06/3末見通し
総資産	5兆125億円	5兆5,331億円	5兆7,924億円	6兆1,000億円
株主資本	7,308億円	9,349億円	1兆1,543億円	1兆2,000億円
株主資本比率	14.6%	16.9%	19.9%	19.7%程度
有利子負債(Net)	2兆3,776億円	2兆3,760億円	2兆3,553億円	2兆6,000億円
DER(Net)	3.3倍	2.5倍	2.0倍	2.2倍程度
ROE	9.9%	10.2%		13.1%程度
ROA	1.4%	1.6%		2.4%程度

3. 配当

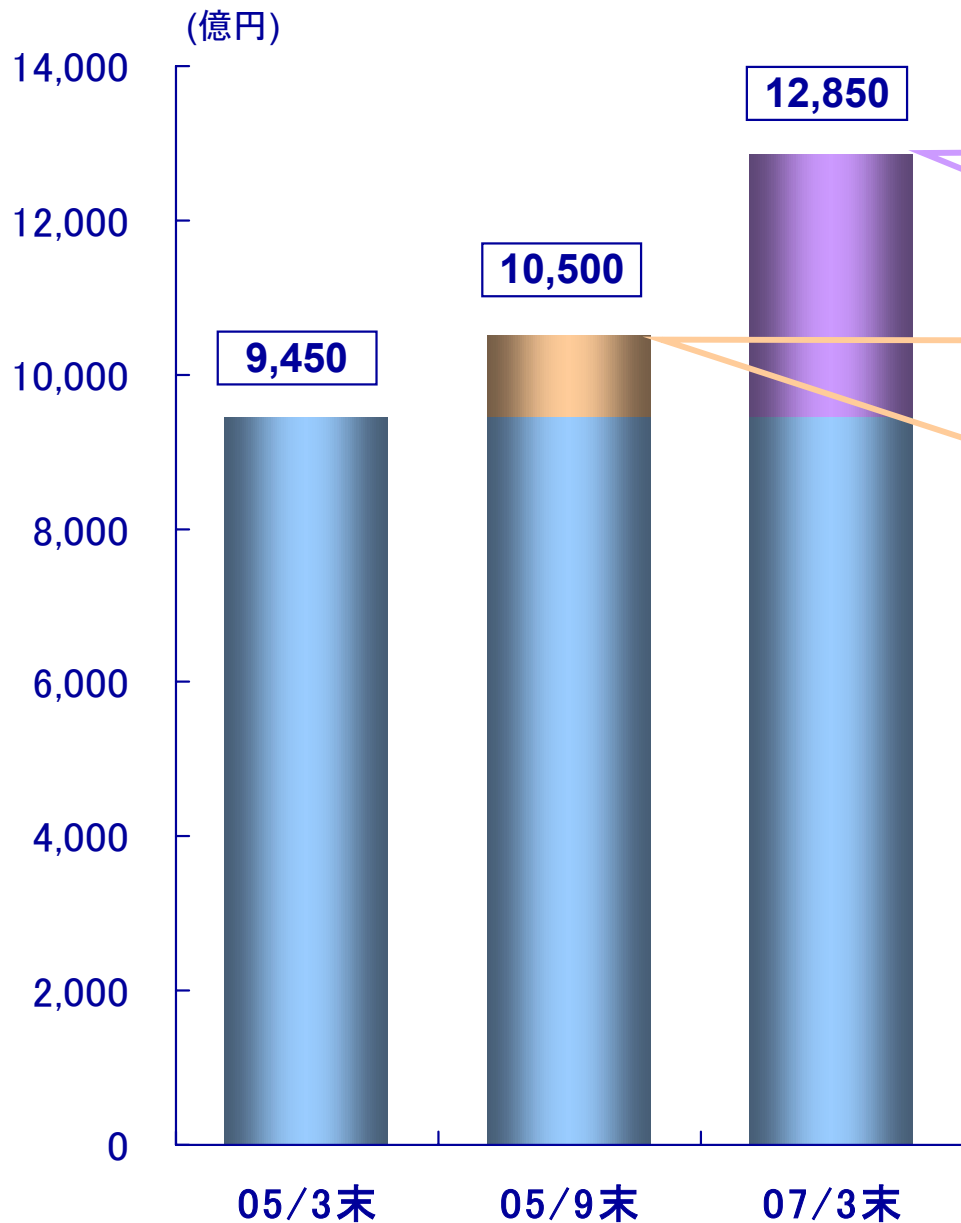
中間配当

配当方針: AG Plan中は、配当性向20%を目処
 配当金額: 予想年間配当金22円の半額11円を中間配当



4.AG Plan

リスクアセット積み増し状況



AG Plan計画: +3,400億円

05/9末残高: 約10,500億円

増加額: 約+1,000億円...①

戦略的投資による増加: +650億円
 株価上昇に伴う増加: +200億円
 営業資産の増加: +150億円

現時点で確定・予定している案件

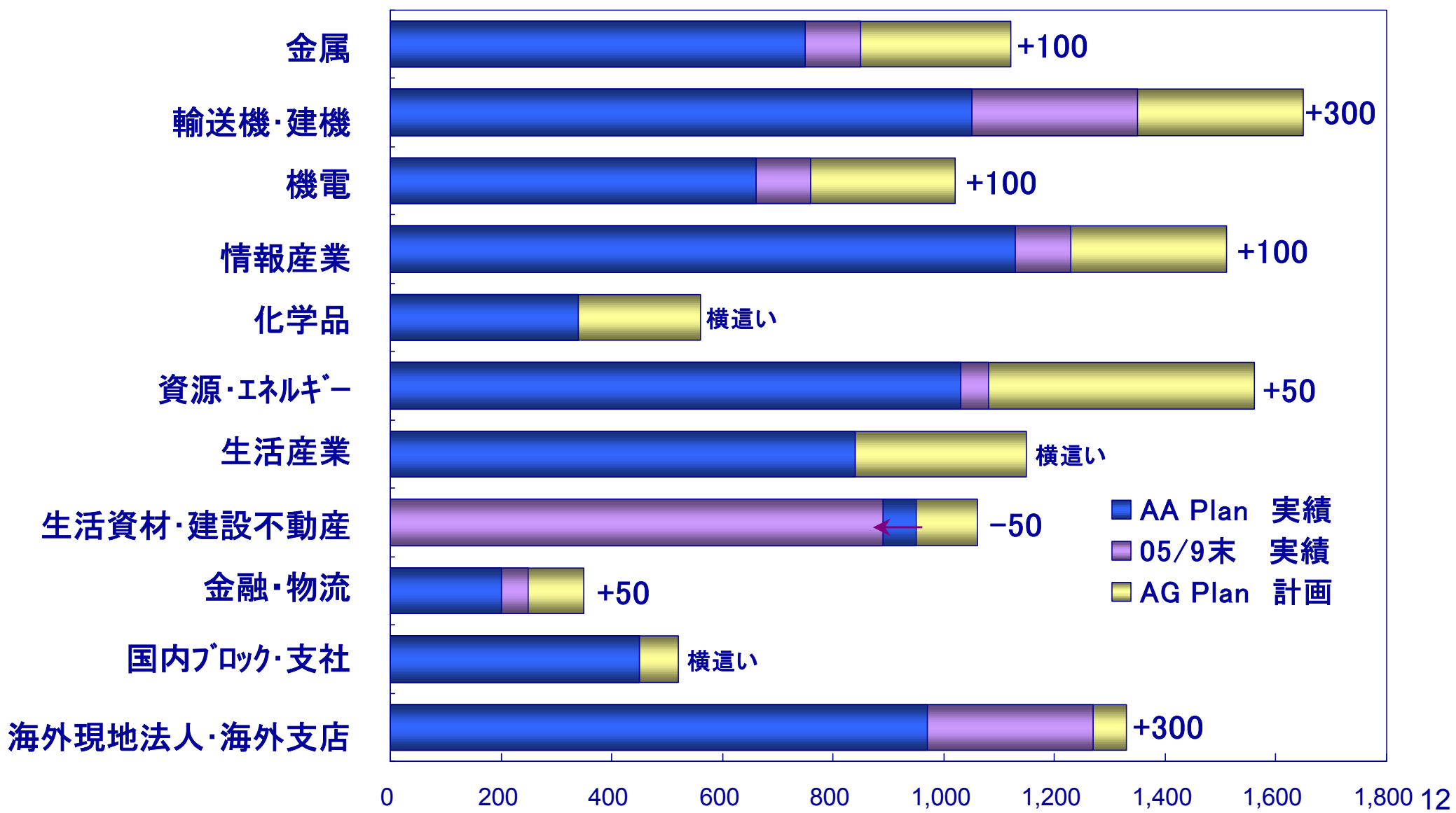
約+500億円...②

① + ② 約+1,500億円

4.AG Plan

セグメント別リスクアセット積み増し状況

リスクアセット(億円) *数字は上半期積み増し額



4.AG Plan

収益基盤拡大の進捗状況①

【金属】

- スチールサービスセンター基盤拡大（UAE、ベトナム、国内）

年間加工能力：海外 36拠点 520万トン／国内 9拠点 170万トン

- ポーランドに自動車用鍛造製品工場設立

【輸送機・建機】

- 国内・海外自動車金融事業

住商オートリース完全子会社化、インドネシア

- 海外建機事業基盤拡大

【機電】

- 海外電力事業の拡大（海外IPP持分発電容量：2,477MW）

IPP：ベトナム/フーミー2-2火力、米国/ハーミントン火力

フィリピン/CBK水力、トルコ/ビレチック水力

EPC：マレーシア、ベトナム等で大型案件継続受注

4.AG Plan

収益基盤拡大の進捗状況②

【情報産業】

- ▶メディア事業 J:COM: 小田急ケーブルビジョン買収、ケーブルテレビ神戸子会社化
ユナイテッド・シネマ: 日本AMCシアターズ買収
- ▶ネットワーク事業 MSコミュニケーションズ: カルソニック・コミュニケーション買収
住商情報システム: 住商エレクトロニクス合併

【化学品】

- ▶ハーツ・マウンテン(ペットケア): M&Aを通じて商品ラインアップ拡充・販路拡大
- ▶住友商事プラスチック、住友商事ケミカル、住商化学品中部の3社を再編・統合

【資源・エネルギー】

- ▶石油権益拡大(出光スノーレ株式買収)、大阪ガスとの石油・ガス開発事業提携
- ▶ペルー・チリにおける銅探鉱・銅鉱山事業への参画
- ▶マダガスカル・南アフリカにおけるニッケル一貫生産プロジェクトの事業化検討

4.AG Plan

収益基盤拡大の進捗状況③

【生活産業】

- サミット、住商ドラッグストアーズ店舗網拡大
- 関西スーパーマーケットへの出資による商流拡大
- 青果事業の基盤拡大

【生活資材・建設不動産】

- 北米タイヤ事業拡大：TBCコーポレーション買収に合意
- 複合再開発の推進：阪大病院跡地開発、千里中央駅前再開発

【金融・物流】

- 直接投資・ファンド投資の強化
- 海外工業団地（ベトナム タロン工業団地第3期建設開始予定）
- 内外物流拠点の拡充

4.AG Plan

持続的な成長を目指して①

■事業ポートフォリオ戦略の深化

ダイナミックな成長戦略による収益基盤の拡大

成長・規模の追求／新事業分野の開拓／グローバル収益力の強化

継続的な資産入替による経営資源(リスクアセット・人材)の最適配分

経営資源入替推進タスクフォースの新設

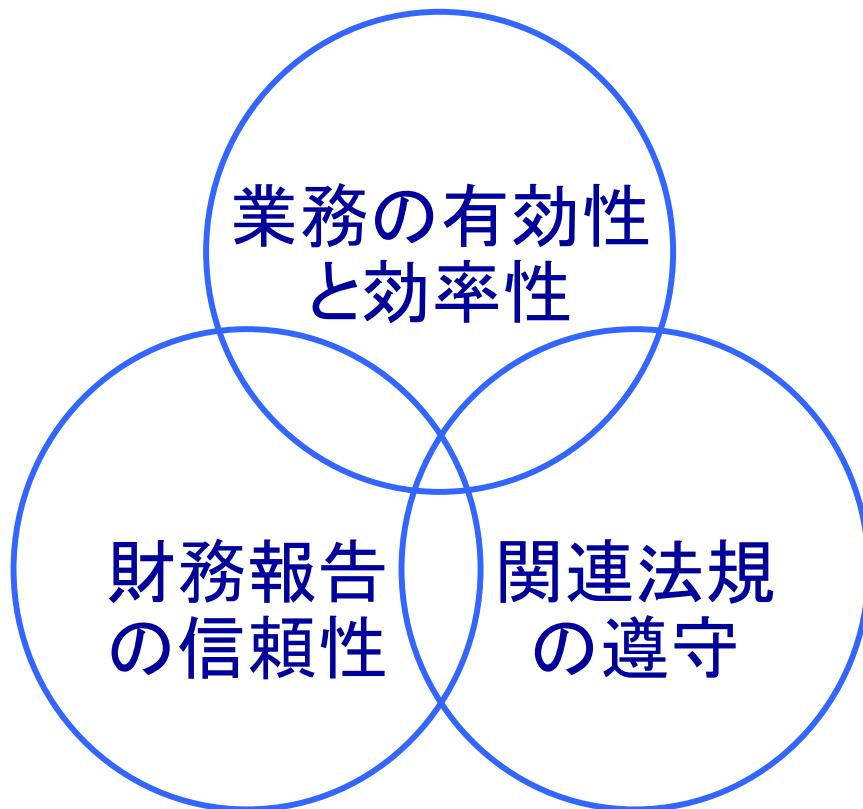
- 小規模事業会社の見直し
- 人材の確保・再配置

4.AG Plan

持続的な成長を目指して②

■健全性・効率性の追求

■インターナルコントロールシステム導入



■業務改革プロジェクト

ア－ニングパワーの強化

オペレーションの合理化

牽制機能の強化

4.AG Plan

持続的な成長を目指して③

「収益性」、「成長性」、「安定性」のバランス

「透明性」と「コミットメント」を重視

全てのステークホルダーの「豊かさ」と「夢」の実現
⇒ 企業価値向上